

令和2年4月－6月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（4月－6月期）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急激に悪化している。個人消費は外出控えによりスーパーの売上が一時的に増加したものの、それ以降は軒並み減少、乗用車販売数なども減少している。また観光業は青森市内で88%減少、弘前市内で74%減少となっている。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	5	9	12	18	44

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	2	2	2	6
1～4人	4	5	10	14	33
5～10人	1	0	0	2	3
11～20人	1	1	0	0	2

過去3ヵ月（R2年1月～3月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	0	0	1
2 横ばい	2	1	2	5	10
3 減少	4	6	10	13	33

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	2	3	4	6	15
3 減少	4	5	8	11	28

➡ 75%以上の事業所が売上減少だとし、今後も横ばいもしくは減少が続くとした。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	3	2	4	12
2 横ばい	3	4	9	10	26
3 減少	0	1	1	4	6

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	2	4	1	2	9
2 横ばい	4	3	9	12	28
3 減少	0	1	2	4	7

➡ 半数以上が横ばいとし、今後も横ばい傾向が続くとしている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	3	2	6	14
3 減少	3	5	10	12	30

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	1	0	0	1	2
2 横ばい	1	3	3	4	11
3 減少	4	5	9	13	31

➡ 減少が70%弱を占めており、今後の見通しも減少としている。

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	5	7	10	25
3 悪化	3	3	5	8	19

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	5	7	8	23
3 悪化	3	3	5	10	21

➡ 横ばい傾向であり、今後も同等に推移していくとしている。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	0	1	3	1	5
2 投資しなかった	6	7	9	17	39

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	2	1	2	6
2 投資しない	5	6	11	16	38

➡ Q7、Q8の資金繰りの悪化が原因か、「設備投資できない」とした事業所もある。

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 変わらない	6	5	12	13	36
3 減少	0	3	0	5	8

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	6	5	12	13	36
3 減少	0	3	0	5	8

➡ 横ばいで推移しており、今後も横ばいで推移するとしている。

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	1	0	0	1
2 変わらない	2	1	4	5	12
3 悪くなっている	4	6	8	13	31

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	0	0	0
2 変わらない	2	0	5	9	16
3 悪くなる	4	7	7	10	28

➡ 70%以上が前期より「悪い」としており、今後も悪化すると見ている。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	4	4	6	5	19
2 販売価格の低下	0	3	2	3	8
3 原材料の高騰	2	4	4	6	16
4 人件費の増加	0	0	0	1	1
5 取引条件の悪化	3	3	1	2	9
6 同業者との競争激化	1	1	2	1	5
7 人材確保難	3	0	2	0	5
8 経営者の高齢化	1	1	2	6	10
9 後継者難	2	1	1	2	6
10 その他	0	1	1	4	6

➡ 「需要の低迷」「原材料の高騰」を課題とする事業所が多くみられる。次いで「経営者の高齢化」が目立っている。

また「その他」と回答した事業所が13%であり、『健康増進法の改正により店内での喫煙ができなくなったため、客数・滞在時間が減ってしまった』（サービス業：飲食）『購買力の町外流出、町内で物を購入する人が減っている』（小売業）との声が聞かれた。

板柳町の景気動向（4月－6月期）

わが町の景気は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により大幅に下押しされ厳しい状況になっている。小売・サービス業では個人消費の減少により、売上20%～30%以上減少している事業所が目立ち、それに付随して企業の業績悪化に伴う雇用、所得環境の悪化が懸念されている。先般、経済活動が再開され徐々に経済が動き始め、国の施策である特別定額給付金の支給により国民の消費も拡大するとともに、町内で実施された町民生活支援商品券やプレミアム商品券の流通による消費の拡大にも期待する。